

	<p>○ゴールボール簡易体験 (アイマスクをして、ゴールボールを体験)</p>  <p>(誰がボールを持っているのか音で判断する)</p> <p>○質疑</p>
<p>6 主な成果</p>	<p>浦田理恵選手の講話を通して、身近なところで出会う障害のある方々とのかかわり方について、さまざまな考え方を学ぶ時間となった。</p> <p>パラリンピックという言葉がメディア等で耳にすることが多いが、生徒が自らパラリンピックの種目に関心を持ち、競技について学んだことで東京パラリンピック期間中にも今回学んだことを想起し振り返ることができる。</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>事前学習として、学年主任より、講師の紹介とゴールボールの競技方法や楽しみ方の説明を行った。説明をする際には、視聴覚教材を用いたことで、生徒の関心も高まり、有意義な事前学習となった。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>事前指導でゴールボールへの関心を高め、講演会では競技の楽しみ方を学ぶことができたが、実技を行う時間が確保できなかった。実際に経験することで視覚が不自由な方の気持ちや過ごし方、競技を通しての難しさややりがいを実感できるため今後機会があれば実践を行いたい。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>今後も障害者スポーツを通じてパラリンピック競技について知る活動をきっかけとし、障害者への理解を深める学習や体力向上の取り組みとして体育の授業でパラリンピック種目を実施する予定である。</p> <p>今後、パラリンピックについての関心、意欲を高めるとともに、一層理解を深めていきたい。</p>